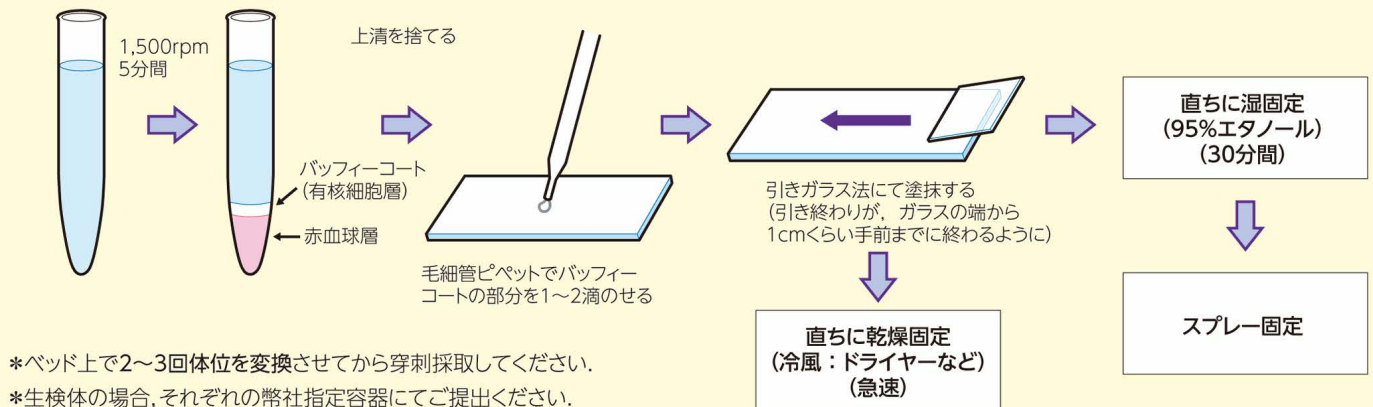
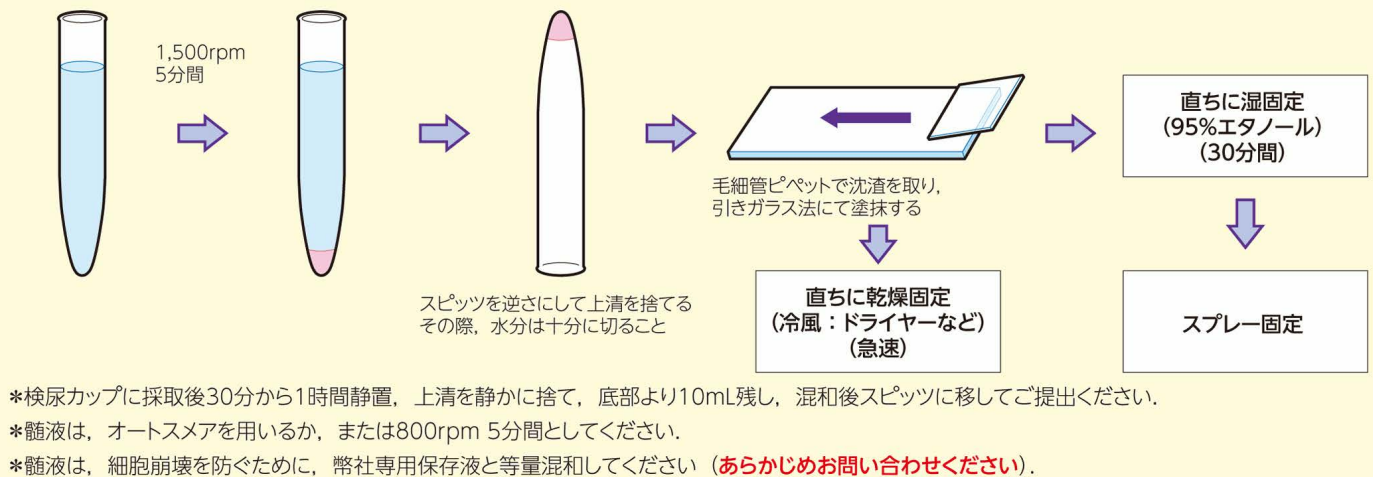


(2) 液状検体

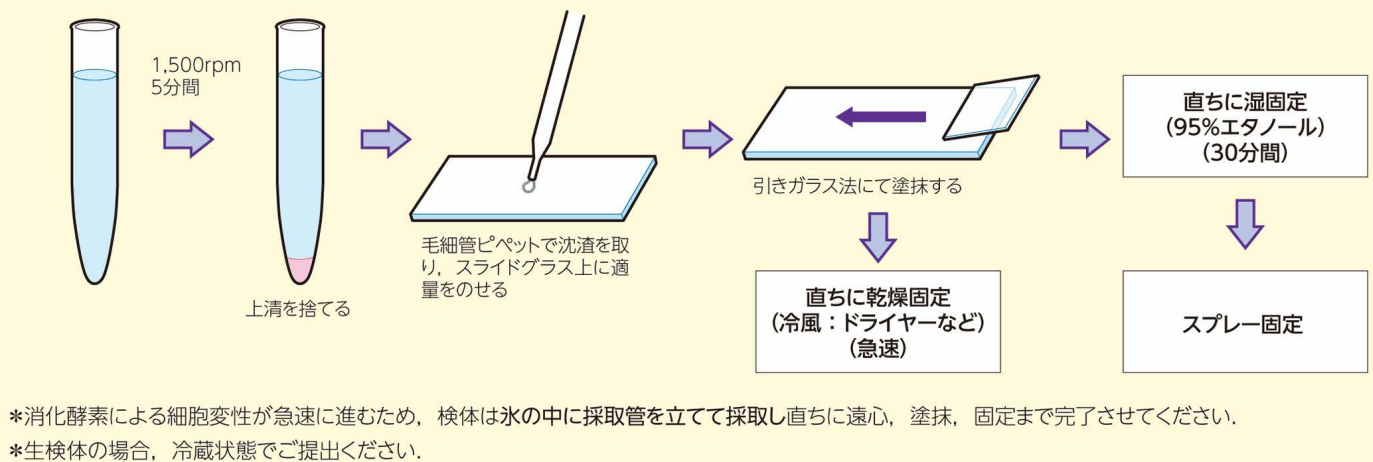
胸水・腹水 必要スライド枚数：湿固定3枚，乾燥固定1枚



尿・髄液など (沈渣の少ない検体) 必要スライド枚数：尿/湿固定2枚，乾燥固定1枚 髄液/湿固定1枚，乾燥固定1枚

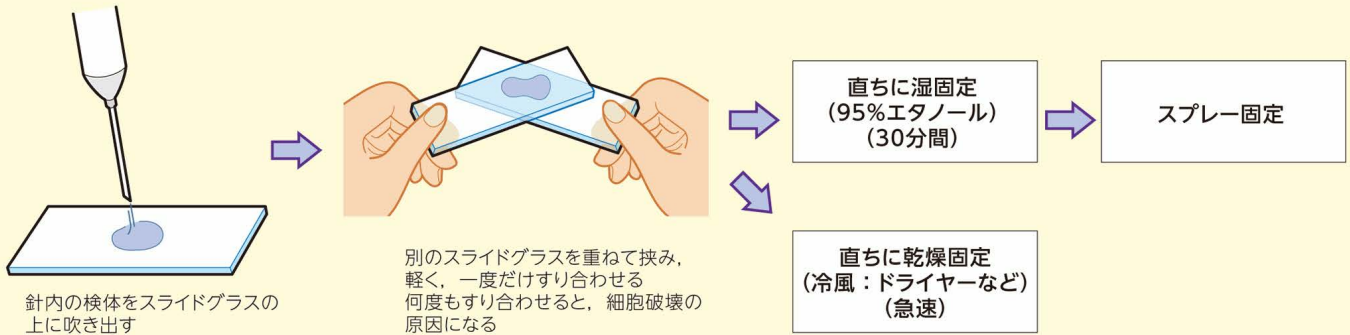


胆汁・脾液など 必要スライド枚数：湿固定2枚，乾燥固定1枚



(3) 穿刺吸引標本など

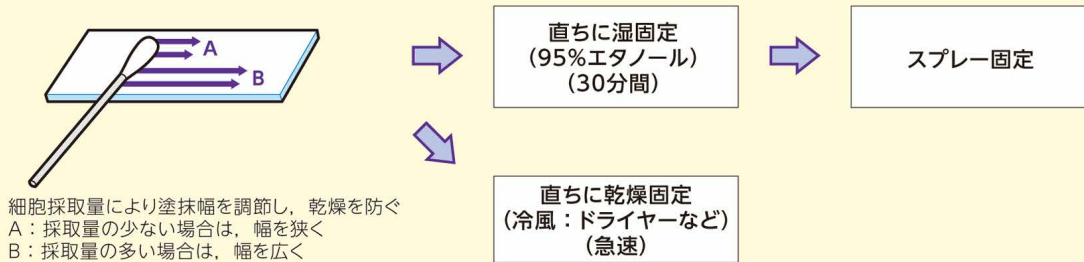
必要スライド枚数：湿固定2枚，乾燥固定1枚



*採取検体は微量であることが多く乾燥しやすいため、標本作製は必ず採取現場で行い、塗抹後、瞬時に固定液に入れてください。

*吸引量が少ない場合、塗抹後に針・注射筒を生食水にて2～3回洗浄し、その洗浄液を1,500rpm 5分遠心、沈渣を塗抹後、直ちに固定してください。

*のう胞内容液など穿刺吸引物の量が多い場合は、生検体をスピッツに入れて提出ください。

(4) 擦過標本必要スライド枚数：湿固定1枚（婦人科検体）
湿固定2枚，乾燥固定1枚（その他検体）

*塗抹時の乾燥を防ぐため、標本作製は必ず採取現場で行い、塗抹後、瞬時に固定液に入れてください。

*婦人科頸部擦過スメアは、綿棒などを立てて塗抹してください。

*婦人科頸管内膜スメアは、綿棒などを寝かせて、回転させながら塗抹してください。

(5) 捺印標本

必要スライド枚数：湿固定1枚，乾燥固定1枚

